

令和5年度の取組状況の報告

国土交通省（那賀川河川事務所）
の取組

令和6年3月26日
那賀川河川事務所

那賀川河川事務所の主な事業2023

激化する洪水の安全な流下、南海トラフ巨大地震の壊滅的被害の軽減を目指し、ダム事業、河川改修事業及び地震津波対策を強力に推進します。

長安口ダム改造事業

那賀川流域の洪水被害を軽減するとともに、流水の正常な機能の維持を図るため、2007年度より長安口ダム改造事業を実施しています。2019年度に洪水吐ゲート2門が完成し、2020年度に選択取水設備が完成しました。貯水池内の堆砂量を抑制するための対策についても実施しており、2023年度は長安口ダム堆砂除去関連工事や進入路整備工事等の長期的堆砂対策を行うこととしています。

小見野々ダム再生事業

既設発電ダム（小見野々ダム）を有効活用し、新たに洪水調節機能を確保することで、那賀川流域の洪水被害を軽減するために、2020年度より小見野々ダム再生事業の実施計画調査に着手しました。2023年度は治水計画検討、堆砂対策検討、地質調査等を行うこととしています。



洪水時の流下能力の確保 河道掘削等

堤防の整備を実施してもなお、流下能力が不足と見込まれる吉井地区において河道の掘削等を行います。



堤防の安全を維持 堤防強化対策等

堤防の周辺が深く掘れることで、堤防の安全性を脅かす危険な箇所である古庄地区において護岸整備を推進します。



河川環境の再生 那賀川自然再生事業

那賀川自然再生事業では、関係機関・地域住民等との連携・協働を図りながら、那賀川の河川環境を再生し、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の回復を目指します。

古庄箇所において、瀬環境（浅瀬）の再生に向けた検討・工事を行います。

大規模地震・津波への備え 南海トラフ巨大地震対策

南海トラフ巨大地震・津波に備えるため、那賀川、派川那賀川、桑野川の河口部である原ヶ崎地区において堤防地盤の液状化対策や内水排除を目的とした樋管施工を実施します。



液状化対策の実施状況写真

2023年度 那賀川河川事務所事業概要

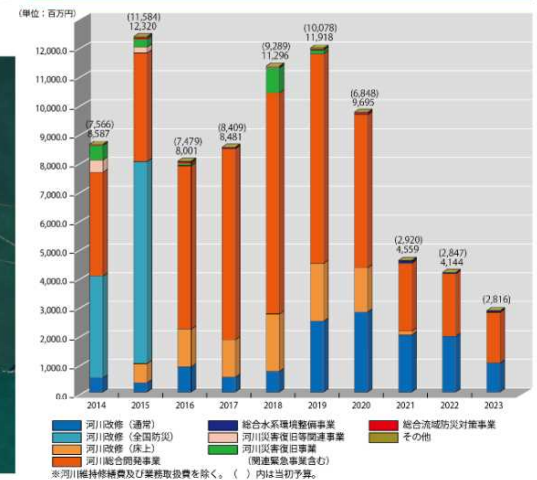
(単位：百万円)

	事業費 ^{※1}			2023年度 当初	事業内容
	2022年度 当初	2022年度 補正等	2022年度 合計		
河川改修（通常）	1,031.0	897.0	1,928.0	1,003.0	原ヶ崎地区の地震津波対策、古庄地区の侵食対策、吉井地区の河道掘削等を実施します。
河川総合開発事業費（長安口ダム改造）	1,339.9	400.0	1,739.9	1,338.9	堆砂除去（貯水池進入坂路設置）、長期的堆砂対策検討等を実施します。
河川総合開発事業費（小見野々ダム再生）	428.6	0.0	428.6	420.0	治水計画検討、堆砂対策検討、地質調査等を実施します。
総合水系環境整備事業費	37.8	0.0	37.8	44.0	那賀川の多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の回復を目指し、古庄箇所において床止等を実施します。
その他	10.0	0.0	10.0	10.0	那賀川における浸透対策に係る堤体健全度評価の調査検討等を実施します。
合計	2,847.3	1,297.0	4,144.3	2,815.9	

※1 2022年度及び2023年度事業費については、全て業務取扱費除きとしています。

※2 上記の他、四国の直轄河川における維持修繕予算が5,758百万円あります。

事業予算の推移



総合土砂の協議会

- 那賀川総合土砂管理計画立案に向け、平成30年3月に「那賀川における総合土砂管理計画に向けた取り組み 中間とりまとめ（以下、「中間とりまとめ」）」を公表し、**平成29年度～令和4年度に実施したモニタリング調査で得た基礎データを用いて、総合土砂管理に向けた検討を実施してきた。**
- 第4回の協議会において、「中間とりまとめ」について以下の更新を行うことを決定した。
 - 出水に伴う土砂移動等に関するデータの取得を目的として、**令和6年～令和10年のモニタリング実施内容を更新**する。
 - 山地から海岸まで一貫して総合土砂管理を進めるため、**土砂生産域に関する目指すべき姿を「中間とりまとめ」に追記**する。
- 関係機関が協働して、モニタリング調査を継続し、調査で得られた知見を活かして、那賀川流砂系・漂砂系全体の総合土砂管理計画立案に向けた取り組みを推進する。

第4回 那賀川総合土砂管理検討協議会 (令和6年3月7日開催)



■出席者

国交省 四国地方整備局 那賀川河川事務所長、
国交省 四国地方整備局 河川部 河川調査官、
林野庁 徳島森林管理署長、徳島県 水産振興課 副課長、
徳島県 生産基盤課 副課長、徳島県 森林整備課長、
徳島県 河川整備課 副課長、徳島県 砂防・気候防災課長
徳島県 運輸政策課 主査兼係長、
徳島県 企業局 施設基盤整備室長、
阿南市 建設部 土木課 課長補佐、那賀町 建設課 課長補佐
四国電力(株) 再生可能エネルギー部 土木グループリー
ダー
四国電力(株) 徳島支店 技術部土木課長

■協議会で出された意見等

- ・ **森林の循環を守る**ことで、その多面的機能の一環として、**少しでも流出する土砂を減らしていくよう対応**していきたい（林野庁 徳島森林管理署）
- ・ 川口ダムの土砂通過の対策を検討していくとともに、**ダム水源における森を守り育てる事業などを通して土砂移動の抑制を支援**したい。（徳島県 企業局）
- ・ 砂防事業は人的被害防止を中心に進めているが、**土砂の管理は砂防の本来の役目であるため、原点に立ち返って考えていきたい。**（徳島県 砂防・気候防災課）
- ・ 長年にわたるダム堆砂除去に**処理場が用意できるか危惧**している。**土砂生産域に関する目指すべき姿を議論して頂けることに期待**している。（那賀町）
- ・ 気候変動に伴う土砂生産の活発化による、**河道掘削・堆砂対策の負担増加を懸念**しており、**総合土砂管理の取組が進むことに期待**している。（徳島県 河川整備課）
- ・ 気候変動の影響で、より大きい土砂生産の可能性があるため、**早めに手を打っていくことが必要**である。（四国地方整備局）
- ・ 昭和51年に災害があった久井谷では、治山施設により土砂移動を抑えているが、**データが不足しているためモニタリングしながら進めたい。**（徳島県 森林整備課）
- ・ 航空レーザー測量を実施し、土砂生産量などを検討の上で、**流砂系全体で土砂生産を抑制していく議論を進めたい。**（那賀川河川事務所）

流域治水協議会

- 那賀川水系では、河川管理者に加え、徳島県、市町等の関係者による那賀川流域治水協議会を令和2年8月7日に設立し、その場にて協議・調整を進め、令和2年度末に「那賀川水系流域治水プロジェクト」を公表。
さらに、令和3年度末に「那賀川水系流域治水プロジェクトの見える化」を公表。
- 第7回の協議会において、流域治水プロジェクトの進捗確認を行うとともに、下記2点に取り組むことを同意。
 - ・【継続】関係住民等の流域治水への理解を深める取組
 - ・【新規】支川桑野川において流域治水関連法に基づく特定都市河川指定を視野に入れ、ロードマップ作成に向けた検討を進め、那賀川水系流域治水プロジェクトを確実に実践・深化させていく。
- 水害から命を守り豊かな暮らしの実現に向けて、気候変動を考慮した「那賀川水系流域治水プロジェクト2.0」を策定し、令和5年度末に公表する。

第7回 那賀川流域治水協議会（令和6年3月8日開催）



いわさよしひろ
岩佐義弘阿南市長



なかやまとしお
中山俊雄小松島市長



はしもとひろし
橋本浩志那賀町長

■出席者

阿南市長、小松島市長、那賀町長、県土整備部長、農林水産部長、南部総合県民局県土整備部長、南部総合県民局農林水産部長、那賀川農地防災事業所長、徳島森林管理署長、徳島水源林整備事務所長、徳島地方気象台長、那賀川河川事務所長、徳島県企業局施設基盤整備室長、

四国電力（株）徳島支店技術部次長がオブザーバーとして参加

■協議会で出された意見等

- ・ 那賀川水系流域治水プロジェクトに関する関係機関の取り組み状況や今後の方針について共有いただき、流域治水の実践と深化につなげていただくことをお願いしたい。（阿南市）
- ・ 「流出抑制対策の実施」については、非常に難しいということは重々承知しているが、最近は学校再編、ため池撤去などの話を耳にする。これら既存ストックを有効活用して貯留施設として活用できないか、来年度の幹事会において、議論いただきたい。（那賀川河川事務所）
- ・ 今後、特定都市河川の指定やその後の計画策定に向けて検討を進めていく上で、特に市と県との役割分担について、まちづくりの観点から協働していくことが重要と考える。（徳島県県土整備部）
- ・ 流域治水プロジェクト2.0について、3月末の公表を予定しているとのことだが、既存の流域治水プロジェクトからの追加箇所をより分かりやすく表現していただきたい。（那賀町）

「那賀川水系の未来を考える勉強会」の取組

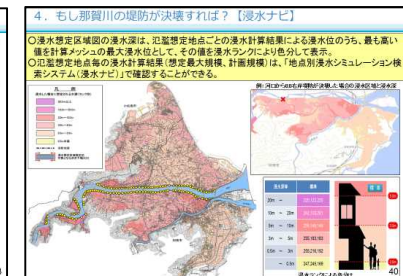
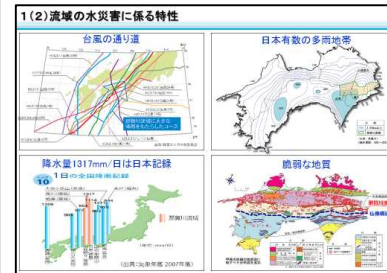
- 第6回那賀川水系流域治水協議会で決定した、「**関係住民等の流域治水への理解を深める取組**」を実践していくため、令和4年7月から住民（防災士・地域自主防災会・企業・団体等）主体の流域治水に関する勉強会を実施しました。
- 12月17日に実施した勉強会で、**全28回開催、累計参加人数が1015名**となった。
- この取組により、那賀川水系流域治水プロジェクトを確実に実践・深化させていく。

勉強会開催実績（R4.7～R5.12）

	開催日	対象機関	参加者数
令和4年度	7月21日 ↓ 12月3日	全6回：那賀川工業用水利水者協議会、阿南商工会議所 etc.	約190名
	2月8日	阿南市防災士の会/役員会	約10名
	2月23日	大野町防災連合会	約50名
	3月3日	日亜化学工業(株)	約80名
	3月6日	王子製紙(株)	約20名
	3月12日	那賀川町	約120名
	3月27日	阿南市農業委員会	約20名
令和5年度	4月8日	阿南市防災士の会/総会	約20名
	4月18日	中野島自主防災組織連絡協議会	約20名
	6月25日	那賀川町芳崎自主防災会	約20名
	6月26日	阿南商工会議所	約30名
	7月13日	那賀川工業用水利水者協議会	約30名
	9月1日	加茂谷中学校	約50名
	9月3日	御霊町・蛭子町	約30名
	10月1日	阿南市消防団	約25名
	10月6日	阿南工業高等専門学校	約80名
	10月29日	富岡地区	約25名
	11月3日	長生地区	約20名
	11月6日	富岡地区自主防災会	約20名
	11月16日	中野島地区住民	約30名
	12月14日	阿南ロータリークラブ	約40名
12月15日	那賀町小中学校校長会	約15名	
12月17日	赤池在所地区自主防災会	約70名	

勉強会の主な内容

1. 那賀川流域の水災害に係る特性
2. 治水の経緯と水害リスク
3. これからの水災害対策 ～流域治水～
4. もし堤防が決壊すれば？【浸水ナビ】



小中学校への出前講座

○流域内の学校を対象に、依頼内容に応じて出前講座を実施しました。その地域を中心とした防災、河川整備や河川環境について講座を実施しています。

令和5年度 出前講座実施状況

- ・ R5. 6.29 大野小学校、6年生16名
(那賀川の歴史、那賀川で発生した洪水、洪水対策について)
- ・ R5. 6.30 岩脇小学校、5年生42名
(那賀川の歴史、那賀川で発生した洪水、洪水対策について)
- ・ R5. 7. 5 岩脇小学校、5年生42名 (水生生物調査)
- ・ R5. 7.13 大野小学校、4年生13名 (水生生物調査)
- ・ R5. 9.11 加茂谷中学校、全学年33名・教員11名
(頻発・激甚化する大水害への対応)
- ・ R5.10.13 大野小学校、4年生13名 (アユの産卵場づくり)
- ・ R5.12. 7 大野小学校、4年生13名 (アユの産卵状況の確認)



出前講座 (座学)



出前講座 (水生生物調査)



出前講座 (アユの産卵場づくり)



ミズベリング・プロジェクト

○那賀川下流域の空間的特色や歴史・伝統的特色等を活かし、既存の河川敷（高水敷）等をより積極的に活用できるよう地方公共団体や地元住民等と一体となって、地域のニーズを踏まえつつ河川整備を行うと共に、河川利用の促進を図ります。

取り組み事例

水辺で乾杯：毎年、夏の夕暮れに人が集まり、
全国で乾杯し、水辺を楽しんでもらう
開催日時：7月7日7時7分
開催場所：浜の浦緑地公園



・ A B O 6 0、阿南市職員、徳島県職員、那賀川河川事務所職員が参加しました。

イベントへの参加(加茂谷鯉まつり、那賀川防災パネル展、阿南の夏まつり)

○那賀川における下流域のイベントに那賀川河川事務所が参加しました。楠根桜まつりでは、ドローンの操作実演、排水ポンプ車の展示をしました。加茂谷鯉まつり、那賀川防災パネル展、阿南の夏まつりでは、防災や流域治水、河川整備などのパネルを展示しました。

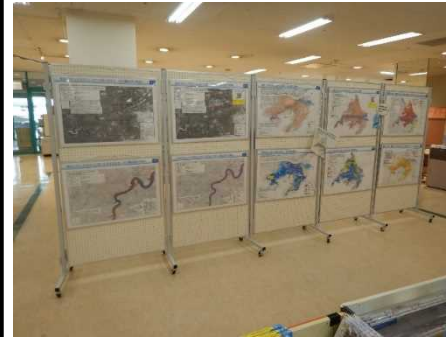
R5.4.1
楠根桜まつり
(楠根桜つつみ公園)



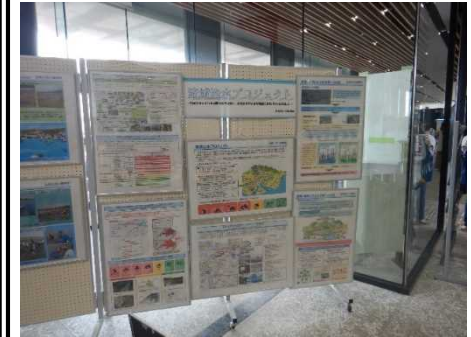
R5.5.4
加茂谷鯉まつり
(加茂堤防)



R5.8.26~9.4
那賀川防災パネル展
(フジグラン阿南)



R5.7.22~23
阿南の夏まつり
(阿南市役所)



長安口ダムを取組（長安口ダム総合案内看板）

長安口ダムは本体改造工事やかわまちづくりにより、周辺にはいろいろな設備が整備されております。そのため、来訪者が、どこにどのような施設があるのかわかるように「総合案内看板」を設置しました。この中には、ダム貯水池の愛称である「なか四季美湖」も記載しています。

1900mm×787mm

長安口ダム総合案内板

なか四季美湖

1 長安口ダム

長安口ダムは治水・利水・発電を目的とした多目的ダムです。

2 新設洪水吐ゲート(2門・7.6号)

長安口ダムの洪水調節能力の増強のため、2019年(令和元年)に完成した新たな洪水吐ゲート2門(7号、8号)です。
新たに設置した洪水吐ゲートのサイズは、国内最大級(幅径10m、高さ約20m)です。

3 既設洪水吐ゲート

長安口ダム建設当時(昭和31年)から設置されている洪水吐ゲート6門(1～6号)です。

4 右岸展望台

雄大なダムの姿と新設洪水吐ゲート、長安口ダム付近の自然を高台から望むことができる展望台(休憩所)です。
また、ダムカードをモチーフとしたフォトフレームを設置していますので、ダムを訪れた記念に撮影してはいかがでしょうか。
右岸展望台までの道中には四季折々の樹木を植えておりますので、季節の移り変わりを楽しむことができます。

5 ビーバー館

ビーバー館(長安口ダム資料館)

ビーバー館では、ダムの役割や水力発電の仕組みなどを模型や映像で紹介しています。
トイレもありますので、ご利用ください。

6 選択取水設備

長安口ダムの下流河川(一般河川那賀川)の渇水長期化を軽減するための取水設備です。
なか四季美湖の中できれいな水を選択し、ダム下流河川の水環境の改善を図っています。

7 長安口ダム管理所

長安口ダムの洪水吐ゲートの操作など、長安口ダムの管理を行う場所です。
■長安口ダム管理所にてダムカードも配布
【配布日時】
8:30～17:15(土・日・祝日を含む)
※管理所玄関のインターホンを押してください。

8 左岸展望台

雄大なダムの姿と長安口ダム付近の自然を至道側から望むことができる展望台(休憩所)です。
日頃のストレスや、ドライブなどの疲れを癒せる場所としてお使いください。

現在地

長安口ダム総合案内看板

長安口ダムを取組(右岸展望台拡幅)

長安口ダム右岸展望台は、かわまちづくりの一環として、那賀町とともに整備したものです。

現地は、人々が休憩できる四阿や椅子があり、周囲にはサクラ3本、ダムと背景と山が一体となったモニュメント {太陽の谷} が設置されています。

今年度、ダム本体がもっと見やすくなるよう展望台の一部を拡幅 (37m²) しました。

さらに、ダムカードをモチーフにした撮影用の枠も設置され、来訪者がダムと一体となった写真を撮影することが出来るようにしています。

また、周辺にはもみの木などの植樹も行っています。



右岸展望台拡幅



右岸展望台からゲート



ダムカード枠



植樹

長安口ダムを取組(左岸展望台モニュメント)

那賀川の源流には川の出発点を意味する「0」をイメージしたモニュメントがあります。

長安口ダムは那賀川の延長125kmのほぼ中央(河口から64.5km)に位置することから、那賀川の真ん中をイメージしたタイトル「どまんなか」のモニュメントが設置されます。

このモニュメントは「那賀川の総延長125kmの中間点にある長安口ダム、水流の調整をする要の司令塔はさながらシーソーの支点。そこで源流はゼロ(0)から生まれた流れが、長安口ダムでコントロールされ、やがて紀伊水道に注いでゴール(G)となる旅をビジュアルに表現した」ものである。(下記写真)右側を源流、中央の土台が長安口ダム、左側が河口部となっており、中央のダムで川の流れをコントロールし、パイプは那賀川の荒々しい流れを表現している。



左岸展望台モニュメント

長安口ダムを取組(ダムライトアップ)

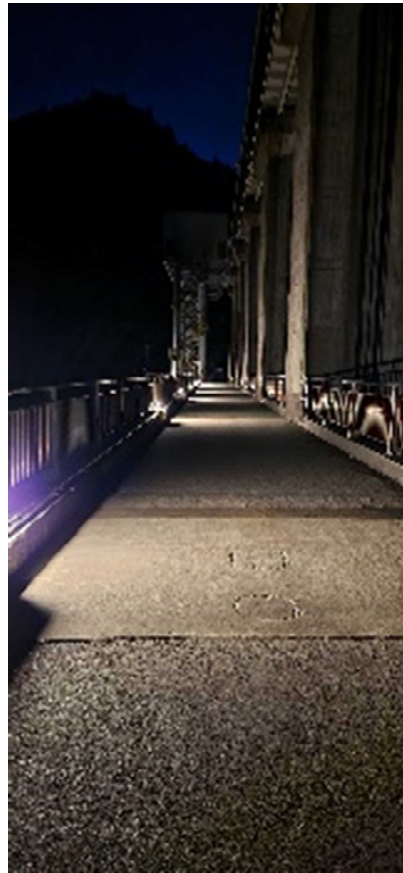
長安口ダムは令和3年度本体改造工事を完了し、新しいダムとなりました。

ゲートは、ダム建設当時からの6門、新設したゲートが2門を併せて、8門あります。

今回、そのダム本体とゲートを照らす照明を設置し、多くの方が夜間時にダムを見ることができるよう定期的にライトアップを行います。

ライトアップは、フルカラータイプで、多様な色を出すことができます。

また、ダム堤天にも、安全に歩行できるように固定ライトを設置しています。



ダム堤天のライト



ダムライトアップ (紫色)



ダムライトアップ (白色)

長安口ダム of 取組(ダムライトアップ案)

長安口ダムのライトアップについては、四季やイベントなどに合わせて、今後、以下の期間において、実施を考えております。

■ライトアップ時間帯 19:00～21:00

○期間限定

- ・ 3月26日～31日（令和6年のみ）

○平常時（ダムから放流していない場合）

- ・ 3月30～4月3日（春季）：**ピンク色**
- ・ 5月のゴールデンウィーク期間中：**黄色**
（※詳しい日程は、SNSにて情報発信）
- ・ 8月1日～7日（水の週間）：**青色**
（※8月6日（那賀川の日））
- ・ 8月12～15日（お盆期間）：**七色**
- ・ 12月24～25日（クリスマス）：**青色・白色**
- ・ 1月1～3日（年末年始）：赤・白

※ただし、防災対応時など中止する場合があります。

○放流時（ダムから放流している場合）

- ・ 不定期に実施（ライトアップする場合は、SNSにて情報発信します）

SNSのリンク先：https://twitter.com/mlit_nakagawa

※なお、右岸展望台は夜間立ち入り禁止にしております。